

瀬戸愛知県館特別プログラム

海上の森シンポジウム

～ 愛知万博の成果を海上の森の未来へ～

趣旨

愛知万博の成果を海上の森でどのように継承していくか、幅広い立場からの意見・提言を受け、拠点施設を始めとした海上の森の保全と活用を考える。

主催・後援

主催 愛知県
後援 林野庁 瀬戸市 海上の森の会 (財)世界自然保護基金ジャパン
(財)日本自然保護協会 (財)日本野鳥の会 中日新聞社

日時

平成17年8月20日(土)
15時から17時20分(14時45分開場)

場所

愛知万博瀬戸会場 瀬戸愛知県館「森の劇場」

内容

開会	15:00
シアターの映像	15:00
あいさつ	
主催者あいさつ	愛知県副知事 長谷川信義
来賓あいさつ	瀬戸市長 増岡錦也
特別講演「森を活かす取り組みについて」	15:25
林野庁長官 前田直登氏	
パネルディスカッション	16:00
コーディネーター	山根一真氏(愛知県館総合プロデューサー)
パネラー	木村光伸氏(名古屋学院大学教授・海上の森の会会長)
	柳澤力氏(株第一工房設計次長・瀬戸愛知県館設計者)
	古南幸弘氏((財)日本野鳥の会自然保護室長)
	マリ クリスティーヌ氏(2005年日本国際博覧会広報プロデューサー)
閉会	17:20

パネルディスカッション出演者プロフィール

山根一眞氏

ジャーナリスト、ノンフィクション作家。元ミッドナイトジャーナルキャスター。アマゾンにおける環境問題の取材を30年に渡って行なっている。1998年東京クリエーション大賞で、個人としては初の大賞を受賞。宇宙科学研究所客員教授。愛知万博愛知県館総合プロデューサーをつとめる。

木村光伸氏

名古屋学院大学教授。愛知万博検討会議委員、里山学びと交流の森検討会座長などとして、とりまとめにあたるなど、海上の森のあり方に対する理解者のひとりである。昨年12月に設立された県民参加組織「海上の森の会」の会長をつとめる

柳澤力氏

一級建築士事務所（株）第一工房設計次長。H13年度愛知万博瀬戸愛知県館の設計プロポーザルコンペ最優秀。海上の森のはずれの現場事務所にて2年近く常駐し、環境に配慮した設計・監理を手がける。海上の森の未来に強い関心を持ち、現在その拠点施設となる瀬戸愛知県館の改修を設計。

古南幸弘氏

（財）日本野鳥の会自然保護室室長。横浜の里山にある環境教育施設でレンジャーをつとめた後、現部署に異動。以後、全国の重要な野鳥生息地の保護活動、都市におけるカラスやカワウ等の野鳥と人との共存の提言づくり、野鳥の密猟や違法販売の防止活動等に携わってきた。

マリ クリスティーヌ氏

父親の仕事に伴い4歳まで日本で暮らし、その後ドイツ、アメリカ、イラン、タイ等諸外国で生活。生まれながらの環境から学んだ幅広い視点から国際会議・式典等の司会、講演活動を多数こなす。2005年日本国際博覧会広報プロデューサーをつとめる。